



平成30年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月9日

上場会社名 テックファームホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3625 URL <http://www.techfirm-hd.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 永守 秀章
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 松本 圭太 TEL 03-5365-7888
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年6月期第2四半期の連結業績（平成29年7月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第2四半期	2,620	39.2	116	—	117	—	49	—
29年6月期第2四半期	1,882	△17.0	△162	—	△171	—	△108	—

(注) 包括利益 30年6月期第2四半期 48百万円 (—%) 29年6月期第2四半期 △116百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第2四半期	6.73	6.68
29年6月期第2四半期	△16.30	—

(注) 平成29年6月期第2四半期の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年6月期第2四半期	5,175	3,923	74.4
29年6月期	5,149	3,897	74.2

(参考) 自己資本 30年6月期第2四半期 3,850百万円 29年6月期 3,822百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期	—	0.00	—	3.00	3.00
30年6月期	—	0.00	—	—	—
30年6月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年6月期の連結業績予想（平成29年7月1日～平成30年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	7.1	180	9.1	167	3.1	30	14.6	4.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年6月期2Q	7,702,000株	29年6月期	7,702,000株
② 期末自己株式数	30年6月期2Q	307,834株	29年6月期	307,834株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年6月期2Q	7,394,166株	29年6月期2Q	6,640,644株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は、平成30年2月27日（火）に機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する四半期決算説明資料は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種経済政策及び日銀による金融緩和が継続し、企業活動も堅調に推移するなど、景気は緩やかな回復基調を維持しております。

当社グループが属する情報サービス業界におきましては、政府が推進する「働き方改革」に伴う業務効率化に対応するためのクラウドサービスや、シェアリングエコノミー、IoTプラットフォーム、AI等により生み出される新しいサービスの利活用を目指した企業のIT投資姿勢は強く、引き続き市場の拡大が見込まれます。

当社グループは、ソフトウェア受託開発事業と自社サービスの両輪を併せ持つグループ会社として事業基盤・収益力を強化するとともに、IoTソリューションプロバイダーとして顧客企業のIoTプラットフォーム構築の推進を支援しております。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は2,620,059千円（前年同四半期比39.2%増）、営業利益は116,301千円（前年同四半期は営業損失162,882千円）、経常利益は117,124千円（前年同四半期は経常損失171,747千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は49,737千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失108,238千円）となりました。

セグメント別の状況は、以下のとおりであります。

(ソフトウェア受託開発事業)

あらゆる産業領域でAI、IoTを活用する動きが活発化するなか、営業研修による提案力の強化や既存顧客の横展開による新規案件の獲得、不採算案件の減少により受注環境は好調に推移しました。自社プロダクト/サービス分野では、IoTプラットフォーム『MoL (Monitoring of Location: モル)』をはじめとした位置情報ソリューションの需要は様々な業界に 응용が可能であり今後も需要拡大が見込まれます。また、平成29年10月にはNTTドコモと共同で遠隔診療サービス『MediTel』を立ち上げ、早期収益化を目指しております。

米国ラスベガスで進めているカジノ施設向け電子決済サービス事業においては、ローカルカジノ及びカジノホテルでの実証実験開始を目指し取り組んでおります。また、日本でのIR実施法案成立を見据え、ギャンブル依存症及びマネーロンダリング対策に適応できるよう情報収集やシステム対応を進めるとともに、カジノ参入企業や自治体に対し、アンチ・マネーロンダリングレポートやカジノ市場の動向調査レポートの販売を進めてまいります。

上記により、当第2四半期連結累計期間のソフトウェア受託開発事業の売上高は1,969,114千円（前年同四半期比36.6%増）、セグメント利益は339,271千円（前年同四半期比125.8%増）となりました。

(自動車アフターマーケット事業)

自動車整備・钣金業者向けシステム販売は、主力の整備システムやガラス・部品卸業者向けソフトの販売に加え、開発を進めてきた新商品である車検工程管理ソフトを当四半期連結会計期間に販売を開始したことにより、売上高、セグメント利益共に前年同四半期を上回りました。

上記により、当第2四半期連結累計期間の自動車アフターマーケット事業の売上高は692,356千円（前年同四半期比57.2%増）、セグメント利益は19,201千円（前年同四半期はセグメント損失98,216千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ76,999千円増加し、3,835,391千円となりました。この主な要因は、現金及び預金が401,508千円減少したものの、有価証券が300,000千円、受取手形及び売掛金が116,117千円、仕掛品が66,047千円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ48,198千円減少し、1,330,751千円となりました。この主な要因は、無形固定資産が27,936千円、投資その他の資産が12,781千円減少したことによるものであります。

繰延資産は、前連結会計年度末に比べ3,270千円減少し、8,863千円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ25,530千円増加し、5,175,006千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ42,873千円増加し、849,507千円となりました。この主な要因は、未払法人税等が42,627千円減少したものの、未払金が64,632千円、支払手形及び買掛金が16,622千円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ43,445千円減少し、401,938千円となりました。この主な要因は、社債が48,000千円減少したことによるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ571千円減少し、1,251,445千円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ26,101千円増加し、3,923,560千円となりました。この主な要因は、利益剰余金が27,554千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間におきまして、親会社株主に帰属する四半期純利益が平成29年8月10日の「平成29年6月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想を超過しておりますが、今後の受注状況や開発投資等を精査する必要があることから、平成30年6月期の通期連結業績予想につきましては、現時点では変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,151,240	1,749,732
受取手形及び売掛金	1,424,712	1,540,829
有価証券	—	300,000
仕掛品	11,981	78,029
その他	179,521	179,053
貸倒引当金	△9,063	△12,252
流動資産合計	3,758,391	3,835,391
固定資産		
有形固定資産	101,452	93,972
無形固定資産		
のれん	772,237	732,294
その他	181,423	193,430
無形固定資産合計	953,661	925,724
投資その他の資産		
その他	329,179	316,397
貸倒引当金	△5,344	△5,344
投資その他の資産合計	323,835	311,053
固定資産合計	1,378,949	1,330,751
繰延資産	12,133	8,863
資産合計	5,149,475	5,175,006
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	132,497	149,120
未払金	174,372	239,004
未払法人税等	124,552	81,925
賞与引当金	73,096	83,320
製品保証引当金	12,300	14,700
受注損失引当金	12,700	4,200
その他の引当金	1,800	1,800
その他	275,314	275,436
流動負債合計	806,633	849,507
固定負債		
社債	408,000	360,000
資産除去債務	22,708	22,784
その他	14,674	19,153
固定負債合計	445,383	401,938
負債合計	1,252,016	1,251,445
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,823,260	1,823,260
資本剰余金	1,794,894	1,794,894
利益剰余金	283,012	310,566
自己株式	△83,739	△83,739
株主資本合計	3,817,427	3,844,981
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	608	897
為替換算調整勘定	4,807	4,978
その他の包括利益累計額合計	5,416	5,875
新株予約権	14,671	14,671
非支配株主持分	59,943	58,031
純資産合計	3,897,458	3,923,560
負債純資産合計	5,149,475	5,175,006

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)
売上高	1,882,485	2,620,059
売上原価	1,240,283	1,585,324
売上総利益	642,202	1,034,735
販売費及び一般管理費	805,084	918,433
営業利益又は営業損失(△)	△162,882	116,301
営業外収益		
受取利息	318	537
受取配当金	—	78
為替差益	865	—
保険解約返戻金	14	5,787
その他	1,944	1,637
営業外収益合計	3,143	8,040
営業外費用		
支払利息	1,747	1,091
支払手数料	1,742	1,704
社債発行費償却	7,065	1,608
その他	1,453	2,812
営業外費用合計	12,008	7,217
経常利益又は経常損失(△)	△171,747	117,124
特別損失		
固定資産売却損	426	—
固定資産除却損	47	—
特別損失合計	474	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△172,222	117,124
法人税等	△40,500	69,300
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△131,722	47,824
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△23,484	△1,912
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△108,238	49,737

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年7月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△131,722	47,824
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	912	288
為替換算調整勘定	13,868	170
その他の包括利益合計	14,781	459
四半期包括利益	△116,941	48,284
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△93,456	50,196
非支配株主に係る四半期包括利益	△23,484	△1,912

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年7月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	ソフトウェア 受託開発	自動車アフター マーケット	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,442,029	440,456	1,882,485	—	1,882,485
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,442,029	440,456	1,882,485	—	1,882,485
セグメント利益又は損失(△)	150,260	△98,216	52,044	△214,926	△162,882

(注)1 セグメント利益の調整額 △214,926千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年7月1日至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	ソフトウェア 受託開発	自動車アフター マーケット	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,952,780	667,278	2,620,059	—	2,620,059
セグメント間の内部売上高又は振替高	16,334	25,077	41,411	△41,411	—
計	1,969,114	692,356	2,661,471	△41,411	2,620,059
セグメント利益	339,271	19,201	358,473	△242,171	116,301

(注)1 セグメント利益の調整額 △242,171千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。